

刊夕日十二月六



定価 一月五拾五圓 郵費別  
 廣告料 五圓以上 二五折 一五折 一〇折  
 日曜祭日の休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

父に贈る言葉

上村 哲彌

【三】

ほんとに愛し合つた夫婦の場合、妻の筆蹟が何時となじむ夫の如く来るのなどはその適例でせう。妻は何も無理に夫の字を真似るのではないのです。それと同じ男の子は生寫しのやうに父親を真似るのです。小さい男の子にとつては自分の父親ほど偉いものはないのですし、子供の言ひ合ひを聞いてゐて御覽なさい、とつて置き言葉は何時でも『おれのいふのはほんとだぞ、だつてうちのお父ちゃんかそつたもの』と云ふのです。此れは實に容易ならぬことです。私共が純真無垢な愛する我が子に斯くの如く絶対無私な信頼と尊敬とをかけられてゐることを静かに思ふ時私共はどうして涙なくして居られませうか——慚愧と感謝との涙なくして居られませうか。此の子供の心の同一視といふ機能を知つたならば私共は畏れ慎んで自分の言葉の端々にも、一舉手一投足にも心を配らねばならぬことを感ずるのです。殊に私共父親としては、子供の

母親たる自分の妻に對する態度を慎まねばならぬことに氣づく筈であります。若し私共が妻に對して暴君振りを發揮しこれをぶべつしない迄も、尠くとも輕視するが如き態度を示すならば父親と自分を同一視する男の子は直ちに母親を侮蔑し輕視することを覺えてしまふのです。我が子に尊敬され信頼されることなくしては母親の子供に對する嫉は全然不可能となるのです。然も母親の感化と嫉とを抜きにした家庭教育といふものは到底考へられないので

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇 明日の献立
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 【朝】味噌汁・葱 小付
- わさび漬
- 【晝】煎り豆腐
- 【晚】チキンカツレット
- マトونس サラダ
- 胡瓜 白須干

ありますから、妻の權威を認め、その人格を尊重することを知らない夫は斷じて良き父とはなり得ないのであります。子供は一方に於て、力への憧憬からしては親と自分を同一視すると同時に、又その同じ力への憧憬からして何かと云へば父親を眼の敵にもするのであります

不二タクシ

電話 32 番

子供は一方に於てその性質として非常に正義感の強いものでありますから成人の不公平に對しては實に敏感であります。従つて彼はそれに對してやりどころのない憤激を感じます。その結果は明白であります。子供は例外なしに父親に對して反感を持たずには居れないのです。唯だ力が足りないから遣りどころのない忿懣を抑へてゐるだけです。そしてそれは最も不可なりなものです。何故かといへば人間の不満や不平はその場で怒りとして出して仕舞へばその儘消えてなくなる場合でも、これを強ひて抑へつけて置くとなればこちれて悪質の反抗心の因となるのです。

五月人形陳列

新興日本のシンボル！  
 弊店特製の大鯉のぼり大好評  
 早月晴れの空に勇ましい鯉を翻へして日本男兒の意氣を壽ぐ五月節句が近づきました。弊店は逸早く尙武の祝に相應しい品々を豊富に取揃へ皆様の御來覽をお待ちして居ります。

- 大鯉のぼり (一間より七間迄) (御注文に應ず)
- 道鐘 外織 (二巾、三巾、五巾等)
- 特撰武者人形 (箱入ケース入)
- 甲冑 揃
- 御座敷織
- セツト 五圓より百五十圓迄

進物用は一圓より取揃へてあります。

フクタヤ祝品部  
 平二丁目

五月節句 御祝品出賣

御座敷敷座揃  
 武者人形  
 陣道具揃  
 鯉布  
 陣具揃  
 陣具道陣  
 陣具道陣  
 陣具道陣  
 陣具道陣

平町四丁目  
 スガノヤ提灯店  
 電話九五番

初夏の松ヶ岡  
 さみだれ上り 淺みどり  
 衣更えした 遅咲きつゝじ  
 赤い手がらで 松ヶ岡  
 招きますぞへ 春木亭

入浴のサーブスもありません  
 日の丸當御持參をも歓迎  
 松ヶ岡公園 春木亭  
 電話五一八番

初夏  
 『誰でも思ひのま、美しい寫眞が撮れる』  
 評判の……  
 東郷製 **メイコーカメラ**  
 五圓・七圓・十圓・十五圓・二十圓の各種  
 トウコーカメラ特約店 **いづみや玩具店**  
 MISカメラ 平 驛前

端午の節句御飾品一式  
 特價大賣出し  
 御座敷敷、布紙鯉、五月武者人形陣道具類、別選白抜布鯉及附屬一式例年の通り豊富に取揃へ、良き品を安く御得意本位主義を以てドン／＼特價に可差上御一覽の程を御待致します  
 陳列品中三尺緋緘鯉及勿來の關人形大函入右品は特に御相談に應じます  
 落花生問屋  
**叶星號 加藤商店**  
 平三丁目

金の……の五月人形陳列  
 嚴めしき甲冑武者  
 鎧カブトに陣道具  
 御座敷敷 可み類其他  
 男兒の幸運を祝はぐ端午飾の一切を取揃へて皆様の御出をお待ちいたして居ります。  
 平町三丁目  
**金太郎玩具店**

# 繭價下落

## 海外の影響

### 出荷も溢れて

四倉繭市場の十九日取引は開市以來五圓臺を持続した相場も海外糸價の反落と出廻最盛期の影響で遂に五圓臺を割り高値四圓五十一錢安値四圓三十二錢、馴四圓七十一錢三十七掛と値下りを見せたが出荷は開市以來の二千四百四十六貫と云ふ大量である。

### 綴方指導

#### 國語研究会

郡下小學校教員の國語教育研究会は明二十一日午前九時から午後四時近平第二校

講堂に東京高師訓導田中豊太郎氏を招き「讀方教育實踐上の考察と努力及び綴方指導の精神と努力」の二点に就いて講習會を開くが會費は五十錢尙今二十日は午後七時から住吉屋本店に講師を中心として座談會を催す由

### 點呼の執行官

大井川配屬將校は來る八月十四日から開始される双相兩郡下の簡閱點呼執行官に任命されたが石城郡下の執行官は双中配屬將校柴田龜三郎氏に決定

## 立往生の...

### 磐城丸修理

#### 漁業家の熱意

#### 遂に貫徹して

#### 來月中旬に鯉漁場調査

本格的鯉漁期に入りながら機關部の故障でみすく、小名濱に立往生の指導船磐城丸の修理問題は漁業者の熱心な希望が貫徹して去る十八日から工費五千圓で修理に着手したが今後一ヶ月位で機關の修理を終へ來月中旬

### 簡閱點呼

#### 執行日割

石城郡下本年度簡閱點呼執行日割は記の如く行はれる

## 唱歌教育に

### 劃期的の躍進

#### 郡下を糾合研究会成る

既報過般來計畫中の本縣唱歌教育研究會石城支部は愈々創立される事になり今二十日午後一時から平第一校に第一回役員會を開き本年度事業計畫及び研究会開催に關して種々協議するが決定された新役員は左の如くである

(顧問) 田中金三郎 千葉右近 赤津千里 西山直三郎 鈴木信忠 菊地正一 鈴木佐四郎 北原操 (支部長) 藤山廉 (幹事長) 武藤貞輔 (常任幹事) 横山藤次 佐藤右京 田部義美 (幹事) 北郷進 外十二名

△八月六日(平第一小學校) 平本籍者△七日(同校) 平入寄留者 神谷平窪△八日(好間第二校) 好間 永戸 箕輪△十日(中三坂校) 三坂 澤渡△十二、三日(内郷高坂校) 内郷本籍 入寄留者△十四日(湯本新校) 湯本 磐崎 渡邊 泉 △十六日(入遠野校) 入、上遠野

△十七日(田人校) 田人 貝泊 荷路夫 石柱△十八日(勿來尋高校) 勿來 川部△二十日(植田校) 植田 山田 錦△二十一日(小名校) 小名濱 玉川△二十二日(江名校) 江名 豊間 鹿島 △二十三日(高久校) 高久 夏井 飯野

## 鐵道野球

### 組合せ決定

既報平鐵道体育部の軟式野球大會は明二十一日午前九時から平商第一兩球場で行はれるが去る十八日の主將會議の結果第一回戦組合せは左の如く決定した

△春陽對IKの勝者と保線區  
△驛構內對ISの勝者と車掌所對乘務員の勝者が對戦

### 飯野増築着工

飯野村小學校ではこの程工費三萬圓で十二日頃増築工事を発することを決議するが八月初旬頃小學校の智中休暇を利用して着工すると

## 漁業電話の

### 回線を増加

平郵便局市外線のうち小名濱、江名、豊間各局より平を經由して茨城縣平潟大津局に接続する電話線は漁業取引の關係上一日百三十回の通話があるので平局では仙臺通信局に回線増加方を申請中であつたが今回從來の一回線を二回線に増設することが認可され今秋迄には同工事が竣工すると

### 盲聾啞教育

本縣研究會 第十五回福島縣盲聾啞學校教育研究會は本廿日午前九時より平町磐

### 平町人事

男隆滋さん 回死 亡  
△八幡小路七六 小荒井八十六長女恭子さん  
△田町二 野崎喜八郎氏六(二ツ)

## 耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九番) 病室完備 自炊便有 山内醫院 醫學士 山内亨 吉

## 整形外科

レントゲン 醫學士 大河内一郎 柔道 大河内寅男 整復師 大河内接骨院 平町橋小路四(電五八八) 舊稱 大河内接骨院 大河内整形外科醫院

### 是非!

御融通には御用命下さい 萬事便利な御相談に應じます

## 三井質店

平・四電六〇六番

## 耳鼻咽喉科専門

大和田醫院 平町南一六(電話一七〇番)

# 甲種合格者

## 平町の氏名

### 總數百九十五人

既報今回執行の平町徴兵検査の結果は壯丁總數百九十五人中甲種合格者は左記三十八各で全体を通じて昨年より壯丁の體格が落ち、花柳病等も相當多かつた模様である

- (本籍)長橋町植頭正 長橋町川角幸一 研町屋島 昌淨 同浅井忠良 古鍛 治直留朝春 田町安田義隆 三丁目長谷川圭吉 四丁目阿部喜平 新川町 林三郎 同鈴木泰久 材木町二面眞純 紺屋町辻久次郎 材木町大平富重 鍛冶町吉田直吉 南町仲井秀三 同人見四郎 久保町和田光雄 胡摩澤伊藤正雄 鎌田町小野照行 同木村正行 下河原三浦清 立町松本清太郎 白銀町鈴木正勝 櫻町朶光雄 北目町鈴木幹雄 (寄留)白銀町佐藤正義 胡摩澤金澤實 十五丁目吉田勝巳 白銀町長谷川政弘 才植小路廣澤榮太郎 立町立川初吉 才植小路相良辰四郎 南町川木久司 大町星寧雄 (前年假決者)白銀町加藤政英 鎌田鈴木一夫 (志願者)四丁目永山勝經 胡摩澤田山好雄

### 商學士の無錢遊興

警署に御厄介 昨十九日午前二時二十分頃 湯本町宇吹谷飲食店跡木

### 多田井質店の怪盗が捕る

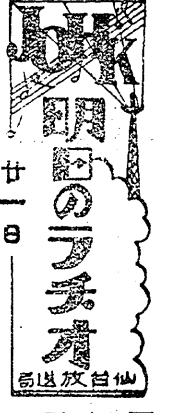
#### 仙臺を荒して 市内徘徊中

(既報)平町大工町質屋業多田井笑次郎氏方を襲ひ質草の懐中時計二個クロム腕時計三十個、指輪一個、現金四圓、を窃取逃走した通り魔的の怪盗は平署が各縣警察部に手配すると同時に全力を擧げて検挙を急いでみたが逮捕に至らず迷宮入りすること自白した。

### 小切手使用が 悪運の盡き

#### 刑務所を出て 通り魔的に荒す

犯人庄子は去る五月二十四日浦和刑務所を出所後東京府下二ヶ所栃木縣古河町、



明日のラジオ

今夜は南東の風 曇後小雨明日は 南東の風後雨

### 今晚の部

- 後六、〇〇 うたのおけいこ ダン道子
- 後六、二五 趣味講演「武將と佩刀」前田稔靖
- 後七、三〇 子供と家庭の夕 ラヂオ聯曲「新太郎」
- 後九、〇〇 時事解説「けふから實施された商工組合中央金庫法について」
- 後九、三〇 時報 ニース村瀬直義
- 明日の話題 氣象通報 番組豫告
- 明日の部
- 前九、三〇 うたのお稽古

### 家出人の搜索

平町新川町古物商磯崎元之介(三)は去る十六日午前十時頃老父と二人の子供を残して家出十一才の女兒と、八才の男児を抱いて生活に固まる十九日老父の彦介から平署へ捜査方願ひ出た

### 海水浴客の 乗車賃割引

#### 寄附二件

昨報石城地方の海水浴客の爲め臨時列車の運轉やガソリンカーの波立薬師裏停留等のサービスを行ふ鐵道では七月廿九日から八月廿五日迄の午前中四五兩列車には往復券に限り左の二割引乗車券を發賣して浴客吸集に努めると

發賣券 四倉 久ノ濱 湯本 四五錢 五五錢 綴 四〇 五〇 平 二五 四〇 赤井 四〇 五〇

小川郷五〇 六〇

平町根本善次郎氏は過日逝去した父丹野榮三郎氏の遺志に依り同町小學校基本金に百圓、社會事業助成金に五十圓、消防組に五十圓を夫々寄贈方を申出た

平町二丁目山崎徳次郎氏は去る三月末隣家の草野産業株式會社の火事に際し火保

- ダン道子 前一〇、〇〇 日曜勸行
- 龍安寺中繼(京都) 前一〇、四〇 味趣講演 (本邦金山發見の傳説)
- 渡邊萬次郎 一、一〇 講演「我國育兒事業の歴史」柳橋元利
- 後〇、五〇 滿洲より 講演「輝く移民の將來」稻垣征夫(新京)
- 後一、二〇 喜劇「親類」付「淡海節」志賀廼家淡海一座
- 後二、一〇 長唄 「八大傳」
- (義實落人の段) 松永鐵之祐他
- 後二、四〇 世界の流行歌
- 福原冷子 淡谷のり子 桃谷中繼
- 後三、一〇 俚諺と詩吟
- 後四、二〇 賀陽宮賜刀爭奪相摸大會 藤井寺相摸場中繼
- 後六、〇〇 合唱 J O A K 唱歌隊
- 後七、二五 國際労働總會講演日端國際放送 吉阪俊藏 遊澤正雄 河野密 ジュネーヴより
- 後八、〇〇 落語 「道具屋」春風亭柳枝
- 後八、二〇 熱田神宮尙武祭川まつり實況 熱田神戶橋上中繼
- 後八、五〇 レヴューウわすれた草松竹少女歌劇團

### 國の礎に...

#### 産業の安全 週間中大宣傳

第九回全國安全週間は協同會産業福利部日本鑛山協會日本土木建築請負業聯合會主催内務省社會局商工省鑛山局後援で来る七月一日より一週間全國に亘つて行はれるが平署に於ても之と協力ポスター、チラシ、標語、趣意書等を管内に配布して産業の犠牲者防止を計る一方「國の礎・産業安全」をモットーとして産業人に反省を求め且つ之が効果を擧げることになつた

### 平職業紹介所報告

- 回人を求める方
- △女中 卅五才迄 給料五圓
- △女中 四十才迄 給料四圓
- △旋網漁業 四十才迄 月給廿五圓前後
- △外交販賣員 廿五才迄 給料歩合
- △材木運搬夫 卅五才迄 日給一圓五十錢
- △農夫 四十才前後 月給十八圓
- △出前持 廿才前後 給料四一五圓
- 回職を求める方
- △事務員 卅三才 乙工卒
- △荷上人夫 卅二才 尋四修
- △トラック助手 廿五才 高卒
- △精米夫 廿四才 尋卒

# 繞る瓦解の設

（著上談上）  
丸尾至陽（著）  
悟道軒圓玉（作）



一五二 猫僧正論ず  
覺玉院義親は山岡君の諄々と説くを聞いて、何をこの小僧はことを吐くかといふやうな態度で  
義「あなたは辯者だな、よしやべりなざる」  
山岡君はハツタと怒つたが、こゝを怒るところでないと急き立つ心をおししづめ

山「勝安房の精忠と大參謀西郷吉之助殿の厚意によつて穩かに江戸城を明け渡し慶喜公の危急をすくひかつ又江戸八百八町の焼土となるを助け申した、殊に幕府よりは陸海軍の軍器をも官軍へ引き渡し申した、これみな朝廷を尊とみ國內の動亂をふせぐため、東照宮多年御辛勞なされて亂れたる世を治めたまひ、太平こゝに三百年、その功業を失墜なさしめざるためにはまづ君臣の名分を明にいたし、しかして民を救ふ、前將軍家の思召もこゝにござる、それ故しのび難き事をもしのび江戸を退去なされて水戸にお出になり、今も謹慎いたし居られる、しかるに幕府の舊臣は過激なる人々をさう合してこゝに屯集いた

義「左様、愚僧の耳にははたはことのやうに響ますでな今度官軍大舉して徳川家と討たむといたしたは朝廷の思召ではござるまい、これみな薩長二藩が朝命といつはりて私憤をもらすためであらう、かゝることに知識なき僧侶のこの義親ですら彼等の隠謀は看破いたし居る、それを貴公は知られぬかえ、一戦もいたさず暗々と江戸城を彼等の手に渡しなほ又陸海軍の軍器をも引きわたしたは貴公や勝安房



この時、義親は目をクルクルと廻轉した、猫僧正といはれるほどあつて折々は目が變化する  
義「イヤイヤそのやうな白痴たことは聞く耳はござらぬよ」  
山「何といはれる、拙者の申したことは白痴なことであるか、愚なことではござるか」  
どのが參謀におどされてなされたことだ、よく聞かれよ、鳥羽伏見の戦ひとてあれは薩長の二藩より事を起したものである、發砲いたしたは薩藩である、さすればたゞかひをおこした罪は彼等がおはねばなるまい、奸智にたけたイヤ権謀家のそろひ居る彼等とて戦ひあやふしと見てこゝに錦

旗を翻へし幕府に朝敵の汚名を被せ、士氣を碎いて何うやらその大勢を回復いたした、何と憎むべき行爲ではござらぬか、また慶喜公が江戸に引き上げ和戦の二ツについて人々の意見を徴された時、精忠の人々はこゝに戦ひの方法を献策いたした、貴公はこれを知らぬか、知らぬばいふて聞かせ、當時幕府の海軍開陽丸は三千トンの戦艦艦であつてそれに大砲は廿六門を有した、なほまたその他の軍艦をして駿河灣に出で、何等の掩蔽物もなき街道を進軍し來る官軍を砲撃し、その退路を断ち、かくいたさば東海道をすゝみ來る官軍は忽ち敗北いたすであらうまた一方陸軍は敵を箱根より東に誘ひしかしてこれを撃つ、また一部隊の海軍をして神戸、兵庫の港を封塞

ウワツ ハツ ハツ ハー

生の旨さを知らずに  
ビールを語るなんて？

例年の通り生ビール賣出し  
キリンビール仙臺工場直送  
……（毎日午後三時着荷）……

洋食ハ  
**平會館**

大祐院葬送に際しては御多忙の處御會葬被成下且つ御鄭重なる御香料を賜り御厚志の段難有存じ奉り候一々拜趨御禮申上可きは本意に候得共略儀乍ら紙上を以て厚く御禮申上候

昭和十一年六月二十日  
福島縣平町二丁目  
喪主 根本善吉  
外親 戚一同

貴方の御家庭に  
本會を御利用下さい  
直に家政婦派出します

お手不足は御座いませんか

料金は極めて低廉で  
町親切 御家庭にお留守居番  
妊産婦の御家庭にお留守居番  
御病人の付添 年寄やお子さんの付添  
炊事や雑用

派出多忙に付會員至急募集  
平町紺屋町二（電話二二番）  
上原家政婦會  
會主 産婆 上原通子

誰にも愧しいし思ひせ買る

絶対保證できる性器具  
衛生サツク

（通信販賣）

壹號品 一打 壹圓也（送料共）  
貳號品 〃 六拾錢也（〃）  
特製品 〃 四拾錢也（〃）

お求めの御方は平局内私書函第三十四號宛爲替封入申込みますと直ちに販賣荷造の上個人名義にて送附いたします。（切手代用は「割増」但し代金引換はお断りいたします）

特別奉仕  
壹號品、貳號品は二打以上、特製品は三打以上御買上の方に定額割引いたします。

性病豫防 ● 産兒調節

名宛 平郵便局私書函第三十四號  
部生衛會商 (谷)